

**【Course Description】**

授業では、新聞などの読解を行い、分析的に文章を読むとは何かを考える。また、レジュメ、要約文、報告文など様々な文章の作成を行う。そして、文章作成を通して、自分の書きたいことを明らかにすると共に、読み手によりよく伝えるための方法を学ぶ。レポート作成においてはその構成を熟考し、資料・データをもとに説得力のある文章が書けるようにする。資料検索、それらの解釈、論理展開の訓練も行う。また、話し言葉と書き言葉の使い分け、引用の仕方や参考文献の挙げ方など、レポートの体裁を整えるために必要な技術を身につけることも目指す。

**【Class Goals】**

大学では、まとまった文章を読んで理解する力、論理的思考をする力、人を説得する表現力が不可欠である。本講座では、レポートなどの論理的文章を書くための第1ステップとして、テキストの読解力および意図する内容を適切に伝えられる文章表現力を高めることを目標とする。

**【Course Schedule】**

【第1回】オリエンテーション・シラバス説明他

【第2回～第13回】複数の時事トピックについて読解、ディスカッション、意見を書くなどの活動

【第14回～第25回】新書または雑誌の読解と学生による授業

【第26回～第33回】あるテーマについてのグループワークと発表

資料の読み方を知る

資料検索の仕方を知る

発表をする

【第34回～第49回】研究レポートを書く

レポートとは何かを知る

テーマを決める

資料を探す⇒読む

アウトラインを作る

引用の仕方を知る

注と出典の仕方を知る

参考文献の書き方を知る

レポートを書く

レポートの相互評価・添削

【第50回～第53回】レポートの発表準備

【第54回～第56回】レポートの発表

【第57回】まとめ

★学生のレベルによっては、内容が変わることがある。

文章の書き方(話し言葉と書き言葉 文章の書き方 文のつながり 要約 段落の書き方など)及び語彙学習は適宜行う

毎週金曜日:各自のレベルにあった漢字学習を自主学習を中心に行う。

**【Preparation for Class】**

学期を通し読む、書く練習を積み重ねていくが、授業前の準備が必要になる。また、実際に「書く」作業は個人作業なので、講義外の時間も使うことになる。必要な時間を十分とれるようにしておくこと。

**【Review of Class】**

自分の課題に関する教師からのフィードバックを確認し、変更・訂正などを行う。

発表について自己評価をする。

**【Remarks for Class】**

①予習、復習でも述べたが、教室での活動以外に各自の課題のための準備が必要である。

②授業内でも、各自が自律的に進めていく姿勢が求められる。出席しているだけでは、何も進まない。

③グループワークでは、それぞれが責任を持って協力しあうこと。

**【Texts】**

プリントなど適宜配布する

**【Reference Books】**

一橋大学国際教育センター編(2015)『留学生のためのジャーナリズムの日本語』スリーエーネットワーク

宇野聖子・藤浦五月(2016)『大学生のための表現カトレーニング あしか: アイデアをもって社会について考える(レポート・論文編)』ココ出版

**【Evaluation Criteria】**

授業参加度 (参加への準備、クラスでの発言、参加態度等) 25%

課題(レジュメなど各授業時に与えられる課題) 40%

レポート 35%

(授業の欠席が全体の1/3を超える場合単位は与えられない)

**【Notes】**